

長野県総合教育会議

「高校改革 ～夢に挑戦する学び～」について

「高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 再編・整備計画」

- これまでの経緯と今後のスケジュールについて
- 高校改革について
- 各地区の再編・整備計画及び新校の目指す姿について
- 統合新校開校に向けた今後の進め方について
- 意見交換

2020年（令和2年）9月14日



○これまでの経緯と今後のスケジュールについて

これまでの経緯

2017年3月

2018年9月

パブリック
コメント

長野県高等学校
将来像検討委員会
審議のまとめ

高校改革に関する
「基本構想」
策定・公表

具体的な
方針

高校改革に関する
「実施方針」
策定・公表

長野県産業教育
審議会答申

「新たな教育の推進」と
「新たな高校づくり」に
一体的に取り組む

中学生・
保護者

地域
懇談会

産業界

大学
関係者

中学
校長会

高校改革は、少子化に対応するための
単なる縮小・統廃合計画でなく、新たな
学びへと改革するための絶好のチャンス

再編・整備計画の今後のスケジュール

2018年
9月

2019年
9月

「実施方針」策定・公表
高校改革～夢に挑戦する学び～

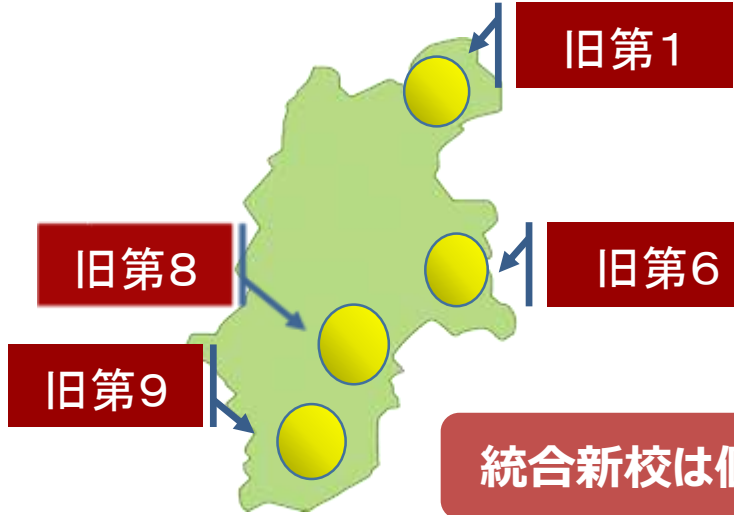
旧12通学区すべてに
「高校の将来像を考える地域の協議会」
を設置

「高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 再編・整備計画」 ～地域からの意見・提案を踏まえた再編・整備の方針～

2020年3月



【一次】(案)
策定・公表



・住民説明会の実施
・県議会、総合教育会議

教育委員会で確定

統合新校は個別の再編実施計画を策定

2021年3月



【二次】(案)
策定・公表

2020年中に協議が終了し、
県教委へ意見・提案の提出
があった地区

【一次】(案)と同様
の手順、スキーム

2022年3月



【全県】(案)
策定・公表

【一次】(案)、【二次】
(案)で策定した以外
の全県

【一次】(案)と同様
の手順、スキーム

住民説明会での主なご意見等

「再編・整備計画【一次】（案）」に係る住民説明会

- 開催時期：2020年6月～7月
- 開催地区・回数：【一次】（案）で示した当該4地区・16回
- 参加者数：739名（旧第1通:102名、旧第6通:252名、旧第8通:323名、旧第9通:62名）

全般的な事項

- 「**新たな学び**」をしっかりと進めてほしい
- 15年、20年先を見ながら、**スピード感を持って**計画を進めてほしい
- 再編統合した**新校の魅力**を高め、**子どもたちと地域のためになる再編**であってほしい
- 高校改革が進む中、子どもたちが進路選択で混乱しないよう、**分かりやすい説明が必要**
- 中山間地存立校の存続**は地域の願いであり大切にしてほしい
- 部活動の選択肢も多く、生徒同士で活発な活動がしやすい**規模の大きな学校の配置**は必要
- 少人数**で余裕をもって学べるようにしてほしい
- 「新たな学び」の実現には、**教員の資質向上と学習環境の整備**がポイント

個別事項

- 「**新校（小諸・佐久・伊那）**」に対する期待と要望

○高校改革について

▶新しい時代の新しい学びの推進

—「高校改革～夢に挑戦する学び」—

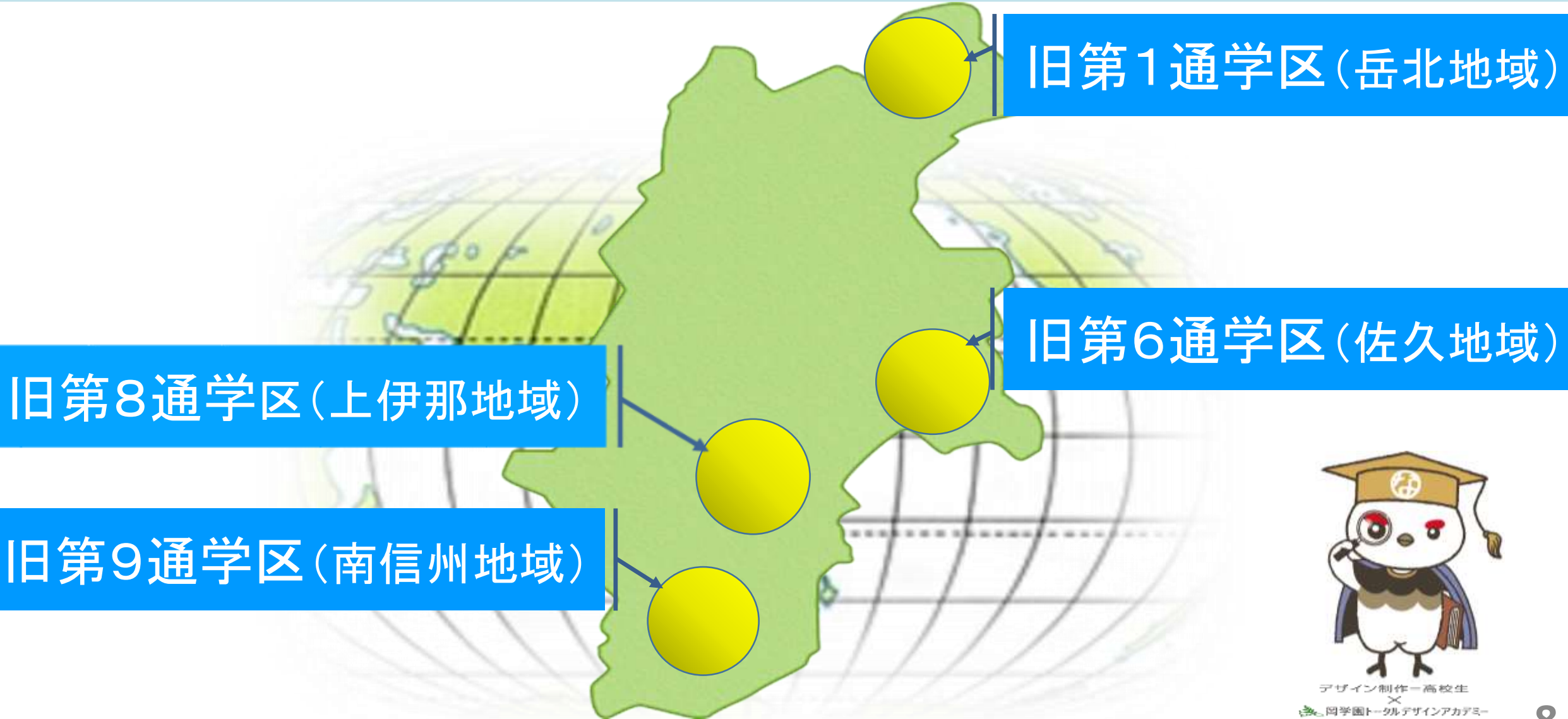
長野県教育委員会 高校改革推進役 内堀 繁利 氏

▶我が国の高校教育のこれからの姿

東京大学教授・慶応義塾大学教授 鈴木 寛 氏

○各地区の再編・整備計画及び新校の目指す姿について

高校改革 ～ 夢に挑戦する学び ～ 再編・整備計画【一次】（案）



デザイン制作＝高校生
×
同学園トータルデザインアカデミー

旧第1通学区(岳北地域)

現在の高校配置

飯山高校	普通科(2)
	自然科学探究科(1)
	人文科学探究科(1)
	スポーツ科学科(1)
下高井農林高校	アグリサービス科(1)
	グリーンデザイン科(1)

注) ()内は2020年度の募集学級数

教育環境の整備

- 生涯学び続ける教育環境づくりを目指し地域とともに考え、環境整備を進める

今後の高校配置

- 当面の間、**現状の高校配置を維持**する



今後の検討が必要な計画

- 将来的に学校規模の縮小や再編基準への該当等により**2校の存続が困難**になった場合は、**下高井農林高校を飯山高校の地域キャンパス**とする

旧第1通学区(岳北地域)

飯山高校

探究を深める学び

- SSHによる科学教育
- 豊富な選択講座
- 「探究」の実践と発展
- 専攻種目の競技力向上

現在の学び

下高井農林高校

専門性を深める学び

- 2学科・8コース制
- 3段階選択制
- カルチベーション
- 資格取得

ラボ拠点

飯山高校の教育資源を活用した探究活動

国際交流、ICT、経済
経営、観光、郷土史等

連携・協働

フィールド拠点

農林高校の教育資源
活用した実践的活動

動植物介在活動、演習林
活用、環境計測、成分分
析、セラピー等

オールラウンドな学び

自然・環境・生命科学
グリーンサイエンス

未来を拓く学び

地域に学ぶリアルな探究

地域振興と未来の担い手

岳北地域の学びのプラットフォーム構築

佐久地域(旧第6通学区)

佐久エリアの学びの資源



地域の中学生の期待に応える学び

新時代の学びのモデル

“時代の最先端に触れる学び”

“地域の「ホンモノ」に触れる学び”

地域の活力を生み出す学びの場

持続可能なまちづくりの核

都市部の高校

規模を活かした
学校づくり
“切磋琢磨”

中山間地の高校

地域と連携した
学びの充実
“地方創生”

佐久地域(旧第6通学区)

“未来のクリエイター育成校”

小諸新校 (仮称)

(小諸高校と小諸商業高校の再編統合)

蓼科

普通科

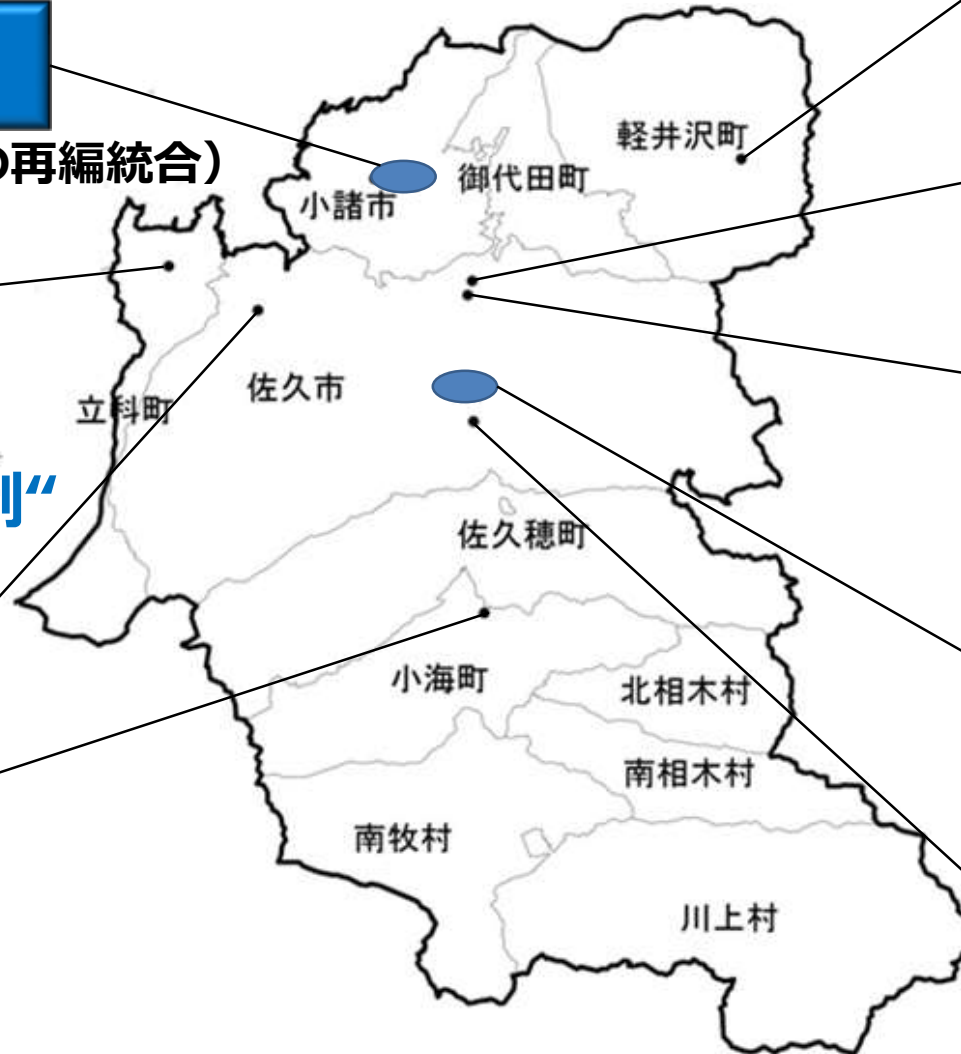
“Newタイプの通信制”

望月サテライト

普通科

小海

普通科



軽井沢

普通科

佐久平総合技術 (浅間)

農業科・工業科

岩村田

普通科

“未来のリーダー育成校”

佐久新校 (仮称)

(野沢北高校と野沢南高校の再編統合)

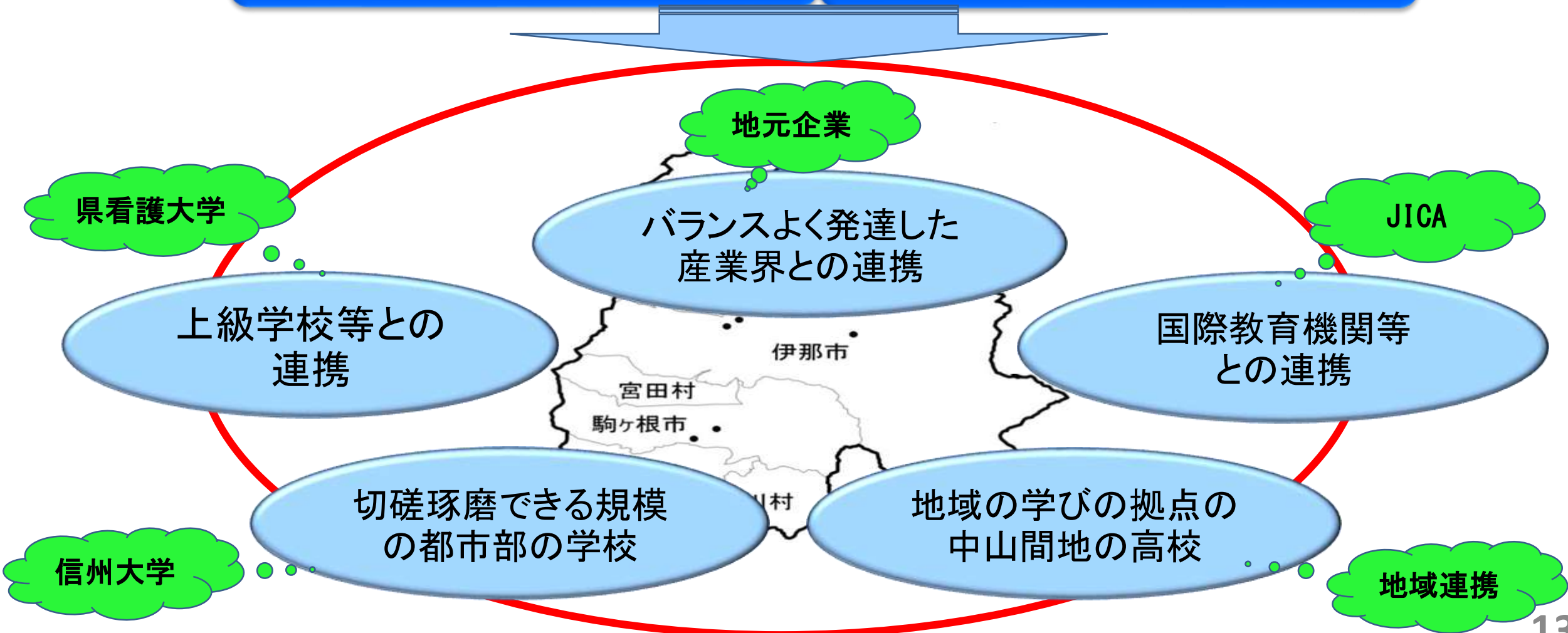
佐久平総合技術 (臼田)

総合学科

旧第8通学区(上伊那地域)

多様な学びの場が用意される
モデル地域上伊那

豊かな地域資源を活用した
多様な学びの場を設置



旧第8通学区(上伊那地域)

多様なニーズに応える学びの場の配置

伊那新校 (仮称)

伊那北高校と伊那弥生ヶ丘高校の再編統合

上伊那総合学科高校 (仮称)

再編対象校は2021年(令和3年)の「再編・整備計画【二次】(案)」で公表

上伊那総合技術高校 (仮称)

再編対象校は2021年(令和3年)の「再編・整備計画【二次】(案)」で公表

多部制・単位制高校

箕輪進修高校(「実施方針」策定時)

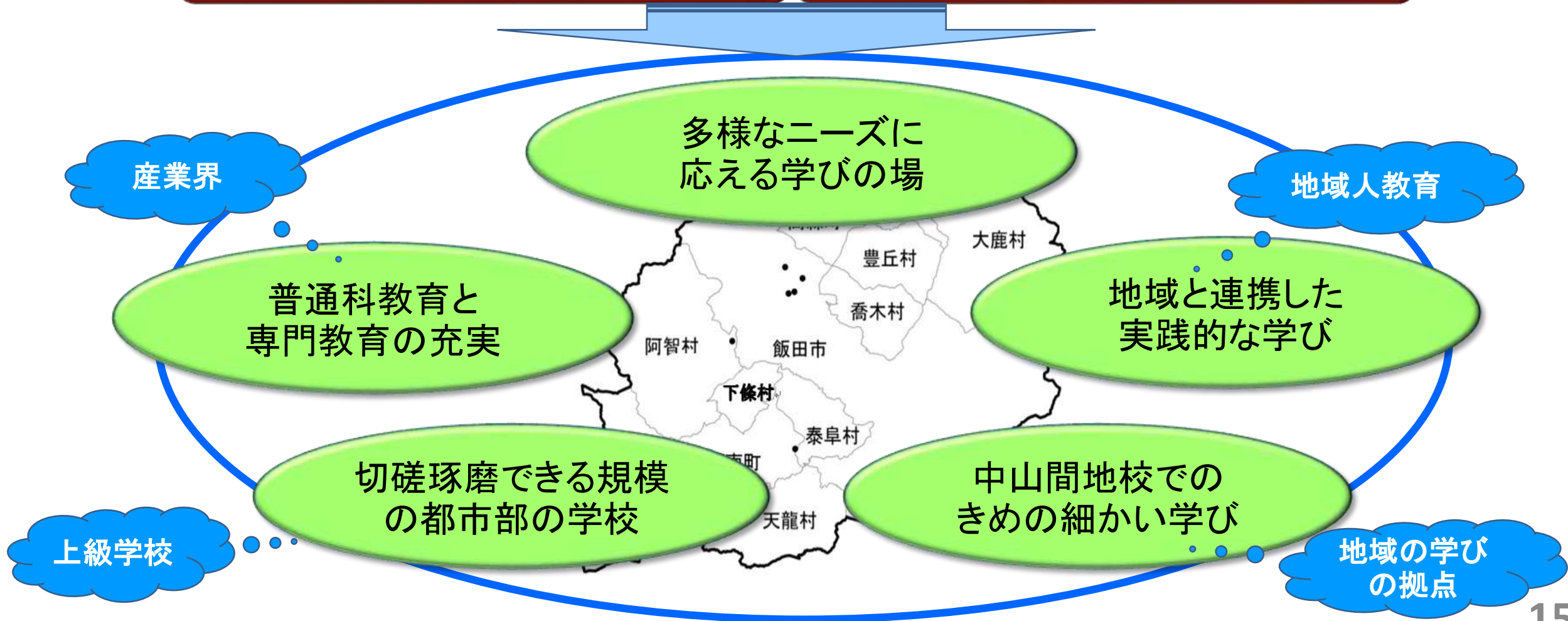
中山間地存立校

辰野高校 高遠高校(「実施方針」策定時)

旧第9通学区(南信州地域)

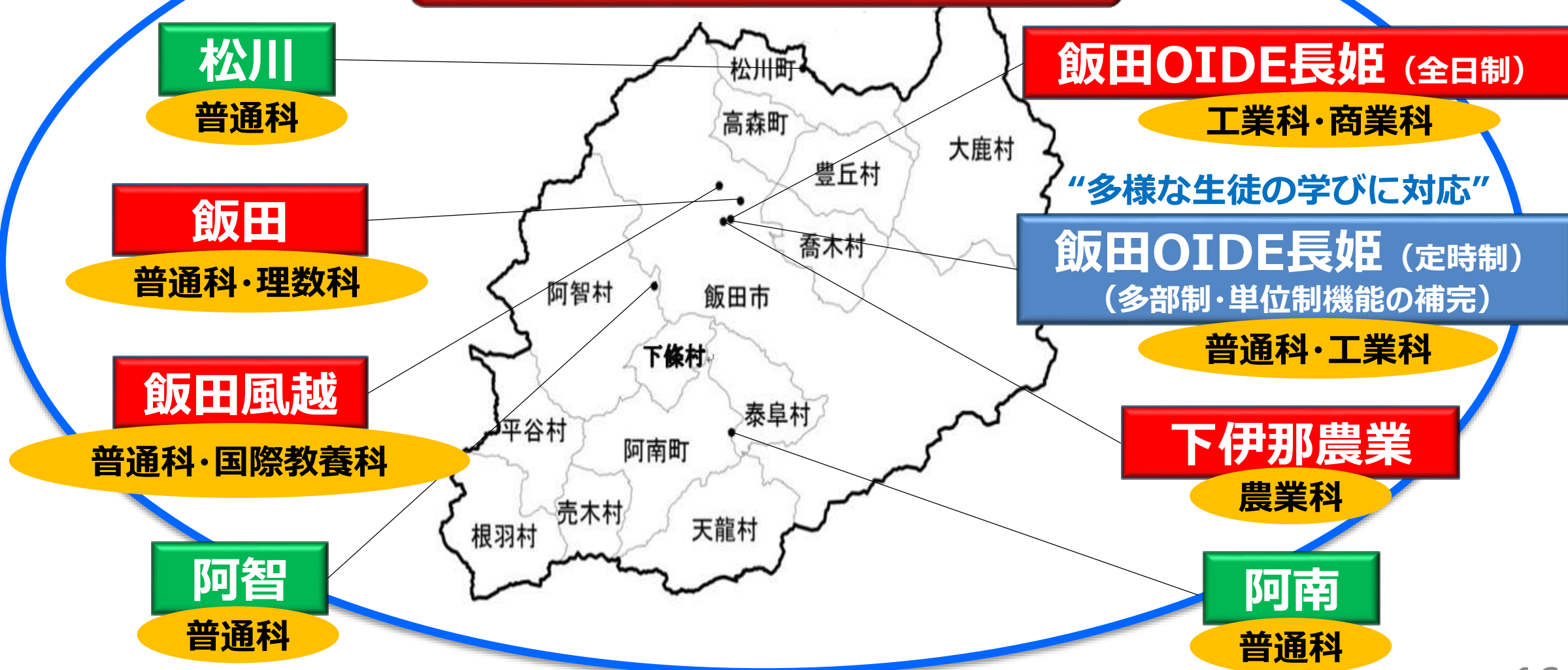
リニア新時代を迎え新たな時代
を見据えた学びの場の構築

南信州ならではの歴史や文化の
学びを通じた地域人の育成



旧第9通学区(南信州地域)

多様な学びの場の配置



小諸新校(仮称)

多学科併設校の新たなカタチ。仲間とともに課題に多方面からアプローチ！

■徹底的に地域協働！地域の未来を創造するクリエイターを育成する高校

学科横断型カリキュラム
+
社会貢献プロジェクト



新たな価値の創造

Social
Innovation

■新たな発想とネットワークで社会課題を探究
・教科の学びを、地域課題解決につなげる人材育成
・普通科目中心のカリキュラム

Business
Frontier

■新たなビジネス分野を切り拓いていく実践
・新たな発想やアイデアを形にできる人材育成
・商業専門科目中心のカリキュラム

Music
Creation

■音楽を通じて豊かな生活を創造する学び
・音楽で、自分とまちをプロデュースする人材育成
・音楽専門科目中心のカリキュラム

パーソナリティをいかし、地域とかわり、地域の未来をクリエイト
共学(Harmony)：新たな発想とアイデアで音楽のある街づくりに貢献

未来を創造する高校

地域協働コンソーシアム構築
地域の持続可能な学びと発展を支える仕組み



長野県立大学等



小諸商店街



芦原・小諸東中学校等



音楽を通じた街づくりに貢献



小学校での「商品開発」講座



小諸未来義塾での発表

佐久新校(仮称)の学校像

時代の最先端に触れ、地域・世界の未来を牽引するリーダー育成校

「知識活用力」を磨く
卓越した探究的な学び

佐久エリアのトップランナーとの日常的な連携



医療・福祉を支える学び
【佐久大学】



地域医療のパイオニア
【佐久総合病院】



技術で医療業界をリード
【マイクロストーン】

探究をさらに広げ深める佐久エリア外との連携

信州大学・筑波大学
などの県内外の大学

日本宇宙航空研究開発機構
(JAXA) などの研究機関

「知的創造力」を磨く
知的好奇心を刺激する授業

未来を牽引する
リーダーへ



医療で社会に
貢献したい

自らの適性
興味・関心
使命の発見

高齢社会の課題を
解決したい



伊那新校(仮称)

～上伊那地域の持続可能で先進的な普通科教育の拠点校～
SDGsの学びを通じて地域や世界の明日を目指す未来学校



○卓越性の伸張 <Excellence>

～羽ばたけ！ 無限の可能性～

最新の学術分野の学び、地域の教育機関との連携
(信州大学農学部、長野県看護大、南信工科短大、JACA等)



○多様性の理解 <Diversity>

～多様な価値観の中で切磋琢磨できる教育環境～
地域や世界の様々な社会課題を探究する学び
(PBL型の社会課題解決型学習等)



○郷土愛の醸成 <Hometown>

～「伊那谷学」で地域の魅力を世界へ発信～
地元企業等との連携による地域や産業の学び
(キャリア教育、「郷土愛プロジェクト」)

<SDGs 未来地域上伊那>



- STEAM型の学びによりSDGsを牽引
- EdTech、ICT活用の個別最適化の学び
- 「50センチ革命」等のリアルな学び

<上伊那地域連携コンソーシアム>

～探究的な学びを深める新たな連携の仕組み～



伊那中央病院等



県看護大等



伊那市役所等



地元企業等



JICA等

<バリアフリー、ユニバーサルデザイン>



- 可変的学習空間
- 地域連携協働空間



World Wide 上伊那 (上伊那の未来へ、上伊那から世界へ)

～地域や世界で主体的に活躍できる卓越した資質・能力の育成～

県立学校学習空間デザイン検討委員会 最終報告

当たり前と考えてきた「教室」と「校舎」のつくり ⇒ 改革します！

「新たな学び」

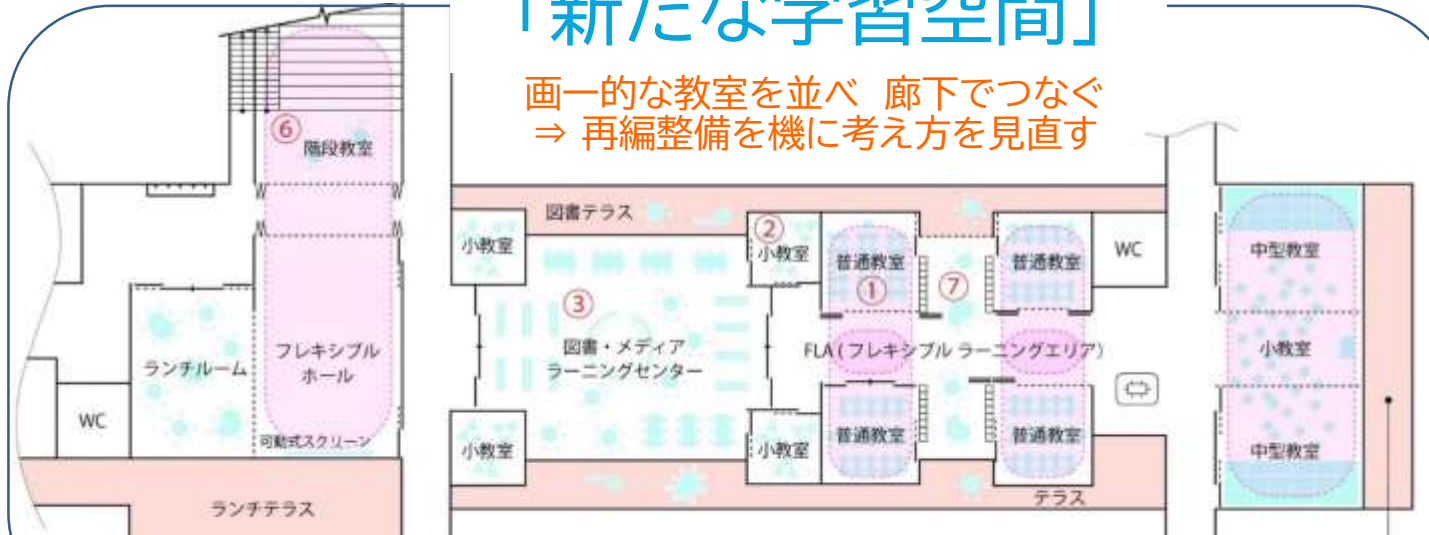


「自律的な学び」+「協働的な学び」
(教え合い・学び合い)



「新たな学習空間」

画一的な教室を並べ 廊下でつなぐ
⇒ 再編整備を機に考え方を見直す



これからの学びに必要な4空間、「学習」「生活」「執務」「共創」を創出

「一体的な高校改革」を推進

⑥階段教室・フレキシブルホール



③図書メディアラーニングセンター



②小教室



⑦ロッカー・ラウンジ



地域と共生する学校：地域にとってのかけがえのない拠点施設

地域連携協働室による地域との共創空間



教育委員会
知事部局



「新たな社会を創造する力」を育む学び
 「地域住民」と「高校生」の協働による地域づくり
 自然エネルギー活用等 ゼロカーボンの実現



地域に
必要とされる
拠点施設

新しい時代の教育県長野



SDGs 持続可能な地域社会の実現

○統合新校開校に向けた今後の進め方について

統合新校開校に向けた今後の進め方

(1) 統合新校ごとの再編実施計画を策定

新校再編実施計画懇話会(仮称)

- 県教育委員会
- 学校関係者 (校長、教職員等)
- 地域の代表 (自治体関係者、産業界の代表等)
- 同窓会、PTA、生徒の代表 等

- 目指す学校像
- 学校教育目標
- 設置課程
- 募集学級数
- 募集開始年度
- 教育課程
- 活用する校地・校舎
- 施設・設備
- 統合の方法 (年次統合か一斉統合か)
- 校名
- 校歌・校章 等

検討状況を地域へ丁寧に情報提供

(2) 基本的な事項を決定し県議会の同意を求める

「再編実施基本計画」の策定

- ① 再編統合対象校
- ② 募集開始年度
- ③ 活用する校地・校舎
- ④ 設置課程・学科及び想定する募集学級数
- ⑤ 統合新校の学びのイメージ

県議会の同意後

(3) 統合新校の開校準備

- ① 校舎の建設、施設整備
- ② 統合新校の校名等統合の細目

○意見交換

— 確かな暮らしが営まれる美しい信州 —
学びと自治の力で拓く新時代

しあわせ信州創造プラン 2.0 (長野県総合 5か年計画) 推進中

幼保・小・中・高の一貫した

「学びの改革」 を推進

長野県教育委員会

